

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年3月20日

BMJニュース

香港：ゼロコロナ戦略が失敗して、世界最悪の新型コロナ死亡率を記録

【松崎雑感】

ゼロコロナを目指していた国、地域では、ワクチン接種が遅れています。香港、中国本土が典型的です。しかも、これらの国、地域ではmRNAワクチンでなく、中国製ワクチンが主に使われているようです。低接種率、低効果が相まって、オミクロン株が急速に広がっているようです。

香港：ゼロコロナ戦略が失敗して、世界最悪の新型コロナ死亡率を記録

Taylor L. Covid-19: Hong Kong reports world's highest death rate as zero covid strategy fails. **BMJ**. 2022 Mar 17;376:o707. doi: 10.1136/bmj.o707. PMID: 35302043.

ゼロコロナ戦略により、感染の封じ込めに成功して、世界の模範とされてきた香港でオミクロン株流行後、感染が激発し、死亡者が急増している。

専門家は、ワクチン接種率が低いことが感染激発の一因と指摘している。

香港の隔離センター、病院、遺体安置書はオーバーフローしている。香港全体のロックダウンを見越して、市民は買いためを始めており、商品棚から品物が消え始めている。

香港の新型コロナ死亡率は10万人あたり25人と、昨年12月のイギリスのレベルを上回った。

香港では高齢者のワクチン接種が低率であるため、高齢者の死亡率は、ワクチン接種の始まる前の第一波のイギリスの死亡率に匹敵するほど高くなっていると、ライセスター大学臨床ウイルス学者ジュリアン・タン氏は述べている。

「パンデミックの初期で市中感染率が低い時期に香港が行った隔離義務付け対策は非常に効果があったが、従来のゼロコロナ戦略の延長線上で新規感染を食い止めることは不可能だ」と彼は語った。

ワクチン接種の加速

以前香港では、感染者は病院に隔離、濃厚接触者は隔離施設で隔離とされていたが、症例数が激増したため、現在は入院隔離期間が短縮され、濃厚接触者は自宅隔離とされた。

香港で投与されているワクチンの多くは中国製である。mRNAワクチンよりも感染と重症化防止効果が低いと指摘されている。

タン氏はmRNAワクチンでブースター接種を行なうのが良いと考えている。しかし、香港市民の多くは、3回接種を完了していない。

香港政庁キャリー・ラム氏の集計によれば、新型コロナ死亡者の9割はワクチン接種未完了者だったという。

彼女は、本土政府から感染収束を強く要請されており、香港市民のワクチン接種を加速する必要があると発言している。

ラム氏は、高齢者を重点としたワクチン接種推進と対規模検査を実施することで感染者の低下を目指している。

ロックダウンの意向はないとしている。香港市民のおよそ4割はワクチン未完了である。さらに70才以上の人々の過半数が、一回もワクチンを受けていない。

80才以上で1回ワクチン接種者は56%、2回接種者は37%、3回完了者はわずか2%に過ぎない。

中国本土

香港は一国二制度政策により、中央政府から全面的規制を受けない地域だが、最近中国本土政府が市民の自由制限を強めた。

このため市民は香港政庁に対する信頼を失っていると専門家は述べている。

ワクチンの多くが中国製であることも、ワクチンへの信頼と接種率の低さに関連している。さらに、欧米ワクチン、例えばファイザーワクチンなどに対する反ワクチン宣伝も影響している。

習近平主席は、先月、香港政府に、新型コロナ対策をしっかりと行うようにと指示を出した。

しかし、新型コロナサーージは香港だけにとどまらない。

3月14日中国では1日感染者数が最大を記録した。

これまで中国の感染者は100万人あたり2.35人にとどまっていたが、オミクロン株流行が始まってから、これまでの対策が通用しないことが明らかとなった。

深圳地域などを含む8千万人を対象としたロックダウンが進行中である。

香港大学ウイルス学者ジン・ドンヤン氏は「中国で大きなアウトブレイクが起きる可能性は極めて高い」と述べている。